

安全データシート

作成: 2008年 4月 1日

改訂: 2023年 6月 6日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF062-07
製品名 : ネビジン粉剤
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性	発がん性	: 区分1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(呼吸器系、腎臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分3

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

・発がんのおそれ

- ・呼吸器系の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害
- ・水生生物に有害
- ・長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・取扱い後はよく洗うこと。
- ・粉じんを吸入しないこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・必要なとき以外は、環境への放出を避けること。
- ・保護手袋/保護衣/保護マスク/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察あるいは手当てを受けること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名/一般名:

2', 4-ジクロロ- α α α -トリフルオロ-4'-ニトロ-*m*-トルエンスルホンアニリド
/一般名: フルスルファミド

成分及び含有量:	フルスルファミド	0.30%
<その他>	結晶質シリカ(石英)	28%
	酸化アルミニウム	6.6%
	酸化チタン	0.33%
	鉱物質微粉等	

官報公示整理番号: 化審法 対象外

フルスルファミド

	安衛法 4-(8)-181		フルスルファミド
CAS No.:	106917-52-6	/	フルスルファミド
	14808-60-7	/	結晶質シリカ(石英)
	1344-28-1	/	酸化アルミニウム
	13463-67-7	/	酸化チタン

4. 応急措置

吸入した場合:

被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合:

汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ。

付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流す。

外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、医師の手当てを受ける。

眼に入った場合:

直ちに清浄な水で洗浄する。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。

コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

刺激が続く場合、速やかに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合:

水で口の中を洗浄し、直ちに医師の手当てを受ける。

無理に吐き出させない。

被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

毛布等で保温して安静に保つ。

応急措置をする者の保護:

救助者は有害物質に触れないよう、手袋やゴーグル、マスク等の保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項:

有効成分であるフルスルファミドの中毒(けいれん)に対しては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効とされている。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 泡、粉末、二酸化炭素、水、砂

使ってはならない消火剤: 特になし

特有の危険有害性: 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法: 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。

危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに止める。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

容器、周囲の設備等に散水して冷却する。

消火活動は、可能な限り風上から行う。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置:適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

漏出した場所の周辺にロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業の際は、必ず適切な保護具を着用し、漏出物との接触及び粉じんの吸入を避ける。

環境に対する注意事項:

河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

漏出したものをすくいとり、又は掃き集めてドラム等に回収する。

二次災害の防止策:

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

危険なくできる時は、漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

換気の良い場所で取り扱う。

屋内で取り扱う場合は、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

吸入や皮膚への接触を防ぎ、眼に入らないように適切な保護具を着用する。

必要な時以外は、環境への放出を避ける。

安全取扱注意事項:

容器を転倒、落下させ、衝撃を加える、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしない。

みだりに粉じんが発生しないように取り扱う。

接触回避:

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策:

休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。手袋等の汚染された保護具を持ち込まない。

指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。

保管

安全な保管条件:

容器を密閉し、換気の良い涼しい場所に施錠して保管する。

酸性の強い物質との保管は避ける。

安全な容器包装材料:

クラフト紙袋、クラフト加工紙袋、はり合わせアルミはく袋等

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度: 鉱物性粉じん 0.087 mg/m³

許容濃度: 鉱物性粉じん 第1種粉じん 吸入性粉じん 0.5 mg/m³, 総粉じん 2 mg/m³ 日本産業衛生学会 (2022年度)

吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m³ 日本産業衛生学会 (2022年度)

吸入性結晶質シリカ 0.025 mg/m³ TWA ACGIH

設備対策:

屋内で取り扱う場合には、全体換気装置を設置する。

密閉された装置、機器又は局所排気装置等を使用しなければ取り扱ってはならない。

取り扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具: 農業用マスク

手の保護具: 保護手袋

眼、顔面の保護具: 保護眼鏡、ゴーグル、保護面

皮膚及び身体の保護具: 保護服、保護帽子、保護長靴等

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 淡黄色粉末
臭い	: 知見なし
pH	: 9.1
融点/凝固点	: 知見なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 知見なし
可燃性	: 可燃性固体の区分には該当しない。
引火点	: 知見なし
自然発火点	: 知見なし
爆発下限及び爆発限界上限界/可燃範囲	: 知見なし
蒸気圧	: 知見なし
密度及び/又は相対密度	: 知見なし
溶解度	: 知見なし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: 知見なし
分解温度	: 知見なし

動粘性率	: 知見なし
相対ガス密度	: 知見なし
粒子性状	: 粒径範囲 45 μ m 以下
見掛け比重	: 0.96

10. 安定性及び反応性

反応性	: 知見なし
化学的安定性	: 通常の保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	: 知見なし
避けるべき条件	: 知見なし
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸
危険有害な分解生成物	: 燃焼時、有害ガス(窒素酸化物、硫黄酸化物、ハロゲン化物)を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット LD ₅₀ > 5,000mg/kg
急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀ > 2,000mg/kg
急性毒性(吸入)	: イヌ(♀) LC ₅₀ > 0.58mg/m ³ (4時間)
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギ 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギ 中等度刺激性 結膜発赤及び浮腫 72 時間後までに消失
呼吸器感作性	: 知見なし
皮膚感作性	: モルモット 陰性
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 区分1Aの結晶質シリカを 28%含むことから「区分1 A」とした。
生殖毒性	: 区分2のフルスルファミドが 0.3%であることから「区分に該当しない」とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(呼吸器系)の結晶質シリカを 28%含むことから「区分1(呼吸器系)」とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(呼吸器系、腎臓)の結晶質シリカを 28%含むことから「区分1(呼吸器系、腎臓)」とした。
誤えん有害性	: 知見なし

12. 環境影響情報

水生環境有害性

短期(急性): 甲殻類の急性データに基づき、「区分3」とした。

長期(慢性): 急性区分3であり、急速分解性が不明であることから、「区分3」とした。

生態毒性

魚類	: コイ LC ₅₀ 138 mg/l (96時間)
甲殻類	: ミジンコ EC ₅₀ 45.5 mg/l (48時間)
藻類	: 緑藻 ErC ₅₀ > 1,000 mg/l (0-72時間)

残留性・分解性	: 知見なし
生体蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし
オゾン層への有害性	: 知見なし
その他	: 知見なし

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて秤量し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : 非該当

国連番号 : 非該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空規制情報 : 航空法に定められている運送方法に従う。

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合はそれぞれの該当法律に従う。

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第18210号
(三井化学クロップ&ライフソリューション(株))

消防法	: 非危険物
労働安全衛生法	: 施行令第 18 条、第 18 条の 2(表示・通知対象物質): 結晶質シリカ(石英)(政令番号 165-2) 施行令第 18 条、第 18 条の 2(表示・通知対象物質): 酸化アルミニウム(政令番号 189) 施行令第 18 条の 2(通知対象物質): 酸化チタン(政令番号 191)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)
5) 三井化学クロップ&ライフソリューション(株) ネビジン粉剤 安全データシート
(2023年4月1日改訂版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。